

令和4年5月23日
京都市環境政策局
〔担当：地球温暖化対策室〕
電話：075-222-4555

外付日よけ「スタイルシェード」の贈呈式について

この度、株式会社LIXILが実施する『窓からECOシェアプロジェクト』*の取組として、外付日よけ「スタイルシェード」の御寄付のお申出がありましたので、下記のとおり贈呈式を実施します。

※ 住宅の省エネ化に寄与する断熱窓などのエコ商品を普及させながら、気候変動の影響による被害の回避・軽減を図る“適応策”として、エコ商品の売上の一部を活用し、保育所・幼稚園などに「スタイルシェード」を寄付・設置することで子どもの室内熱中症予防を推進するプロジェクト(詳細は[参考資料](#)参照)

記

1 日 時

令和4年5月30日(月) 午前11時～午前11時30分

2 場 所

京都市役所 本庁舎4階 正庁の間

3 出席予定者

(1) 寄付者 株式会社LIXIL

LHT京滋支社 井上 満康 支社長
小林 稔 京滋第一営業所長

京都板硝子株式会社* 柳瀬 知之 代表取締役社長
吉村 俊之 営業部長

※ 京都府内のプロジェクト参加企業

(2) 受納者 京都市

門川 大作 市長
猪田 和宏 環境政策局 地球環境・エネルギー担当局長
大山 剛生 教育委員会事務局 教育環境整備室担当部長

4 寄付物品

外付日よけ「スタイルシェード」 12台

5 設置場所

京都市立伏見南浜幼稚園(京都市伏見区丹後町142)

LIXIL「窓から ECO シェア プロジェクト」について

「窓から ECO シェアプロジェクト」は、温室効果ガスの排出削減を行う“気候変動の緩和”につながる断熱窓などのエコ商品を広く普及させながら、気候変動の影響による被害の回避・軽減を考える“気候変動の適応”策として子どもたちの室内熱中症予防を推進する、“気候変動の緩和と適応”策両面を啓発・推進する活動です。2019年から活動をスタートし、今年で4年目となります。

*LIXIL「窓から ECO シェアプロジェクト」HP：<https://www.lixil.co.jp/minnadesmileecopj/thinkheat/madoeco/>



プロジェクトの仕組み（左：緩和策、右：適応策）



過去実施の寄付施設の様子

具体的には、住宅の新築・リフォームの際に断熱性能の高い窓やドアをご採用いただくことで冷暖房のエネルギー消費が抑えられてCO₂排出量を削減できます（＝気候変動の緩和策）。さらにその売り上げの一部で、室内熱中症から子どもたちを守るために保育所・幼稚園などに外付け日よけ「スタイルシェード」を寄付・設置（＝気候変動の適応策）します。[#SDGs13：気候変動に具体的な対策を](#)

お客さま、地方自治体、ビジネスパートナー、LIXILの参加者全員が、社会課題の取り組みを推進し、持続可能な社会の実現を目指して取り組んでいます。[#SDGs17：パートナーシップで目標を達成しよう](#)

●2021～2022年の活動

対象期間：2021年10月～2022年3月（プロジェクト期間）

対象地域：茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、長野県、山梨県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

寄付施設：各県1施設、計15施設にスタイルシェードを寄付し、各施設で贈呈式を行います。

CO₂削減貢献量：計6,533トン

●外付け日よけ「スタイルシェード」について

窓から侵入する太陽の熱を約83%^{*1}カット

夏場、室内に入ってくる熱の約7割は窓などの開口部からです。カーテンやブラインドは、室内で日差しをカットするため室内まで熱が入ってきて、そのままこもってしまいます。一方室外で日差しをカットする外付け日よけ「スタイルシェード」は太陽の熱を窓の外側でカットすることで、室内の温度をダウンします。室内温度の上昇を抑えれば、室内熱中症対策だけでなく、夏の節電にもつながります。

*1 一般複層ガラスの窓にスタイルシェードを使用した場合の性能です。関連JISなどに基づき計測および算出した値であり、保証値ではありません。



室内で日差しをカット

カーテンの場合



室外で日差しをカット

スタイルシェードの場合^{*1}

